

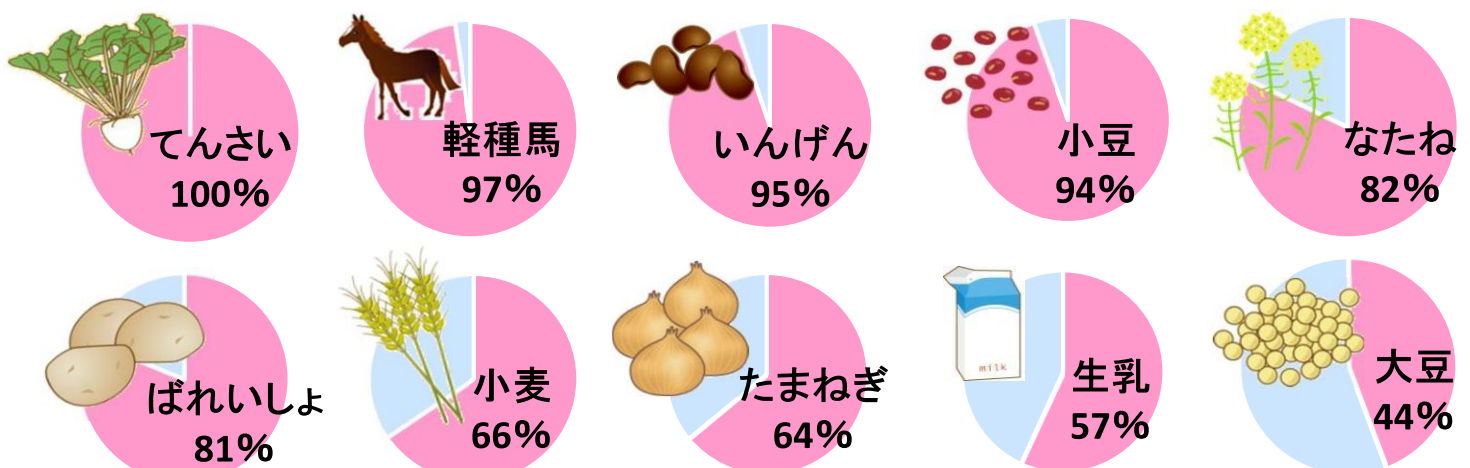
第1 北海道農業の特色

- ・北海道は、全国4分の1の広大な耕地面積を活かして大規模で専門的な農業経営が展開されている。
- ・北海道の1経営体あたり経営耕地面積は35.3ha（都府県の7.4倍）で、農業経営体のうち法人経営体の割合は13.6%（都府県は3.2%）で、個人経営体のうち主業経営体の割合は63.8%（都府県は19.0%）。
- ・北海道の農業産出額は、1兆2,919億円で、全国の14.3%（全国1位）を占めており、また、生産量についても生乳、ばれいしょ、たまねぎ、軽種馬、小麦など多くの品目が全国1位である。
- ・カロリーベースの食料自給率は218%で（全国1位）我が国最大の食料供給地域として重要な役割を担っている。

1 北海道農業の全国に占める割合

区分	北海道	全国 【都府県】	全国又は都府県に 占める割合	全国 順位
耕地面積(令和5年)	1,141,000ha	4,297,000ha	26.5%(全国)	1位
1経営体当たり経営耕地面積 (令和5年確定値)	35.3ha	4.6ha 【4.8ha】	7.6倍(全国) 7.4倍(都府県)	—
農業経営体数(令和5年確定値)	32,300経営体	【897,100経営体】	(3.6%)(都府県)	—
うち団体経営体数 (農業経営体数に占める割合)	4,700 (14.6%)	【36,000】 (4.0%)	—	—
うち法人経営体数	4,400 (13.6%)	【28,600】 (3.2%)	—	—
うち個人経営体 (農業経営体数に占める割合)	27,600 (85.4%)	【861,100】 (96.0%)	—	—
うち主業経営体数	20,600 (63.8%)	【170,100】 (19.0%)	—	—
農業産出額(令和4年)	1兆2,919億円	9兆0,142億円	14.3%(全国)	1位
食料自給率(カロリーベース)	218% (令和4年度概算値)	38% (令和4年度概算値)	—	1位

2 北海道が生産量又は収穫量全国一位の主な農林水産物



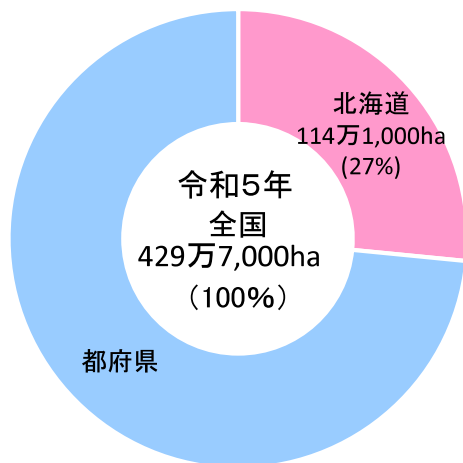
資料：農林水産省統計部「令和5年耕地及び作付面積統計」、「生産農業所得統計」、「農業構造動態調査結果（確報）」、「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「牛乳乳製品統計調査」、農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室「都道府県別食料自給率」、農林水産省畜産局「馬産地をめぐる情勢（令和6年6月）」

第2 耕地面積の概況

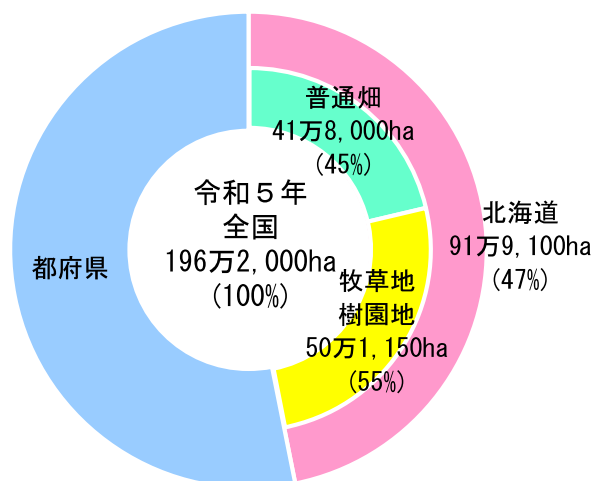
1 耕地面積

- 北海道全体の耕地面積は114万1,000haで、全国に占める割合は27%（全国1位）。うち畑は91万9,100haで、全国の畑の面積に占める割合は47%。また、北海道の耕地面積全体に対し81%。

(1) 耕地面積(田畑計)



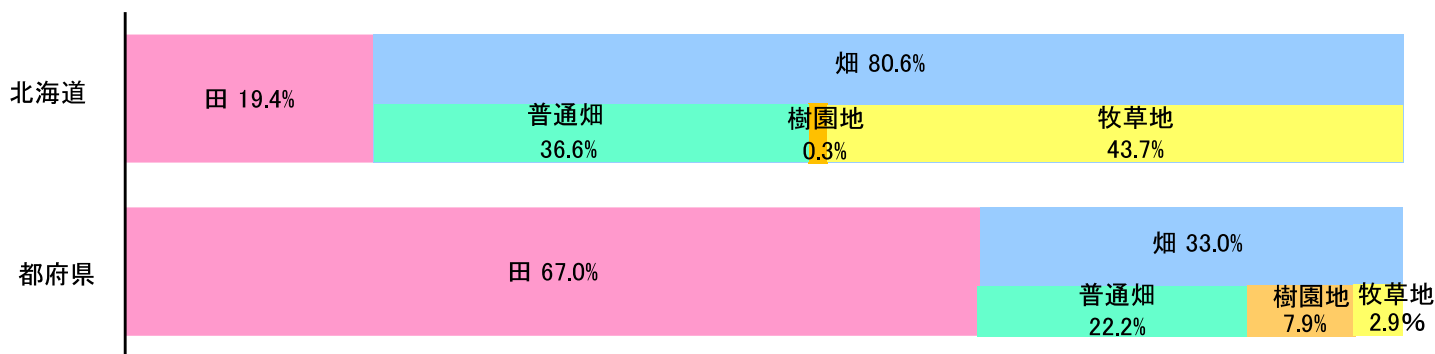
(2) 耕地面積(畑)



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

2 種類別耕地面積割合(令和5年)

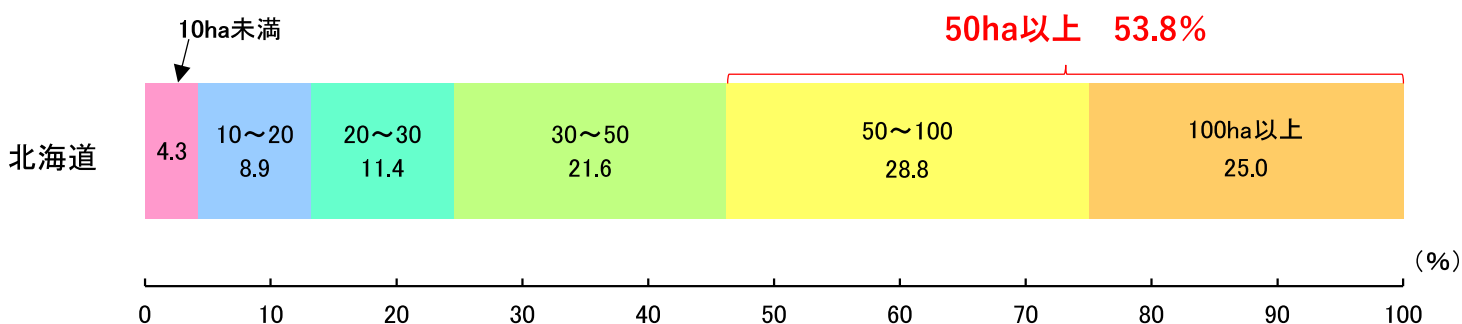
- 北海道の種類別耕地面積の割合は、牧草地43.7%（50万ha）、普通畑36.6%（42万ha）、田19.4%（22万ha）。



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

3 経営耕地面積規模別の面積割合(令和2年)

- 北海道においては、50ha以上の農業経営体が担う経営耕地面積が5割超。

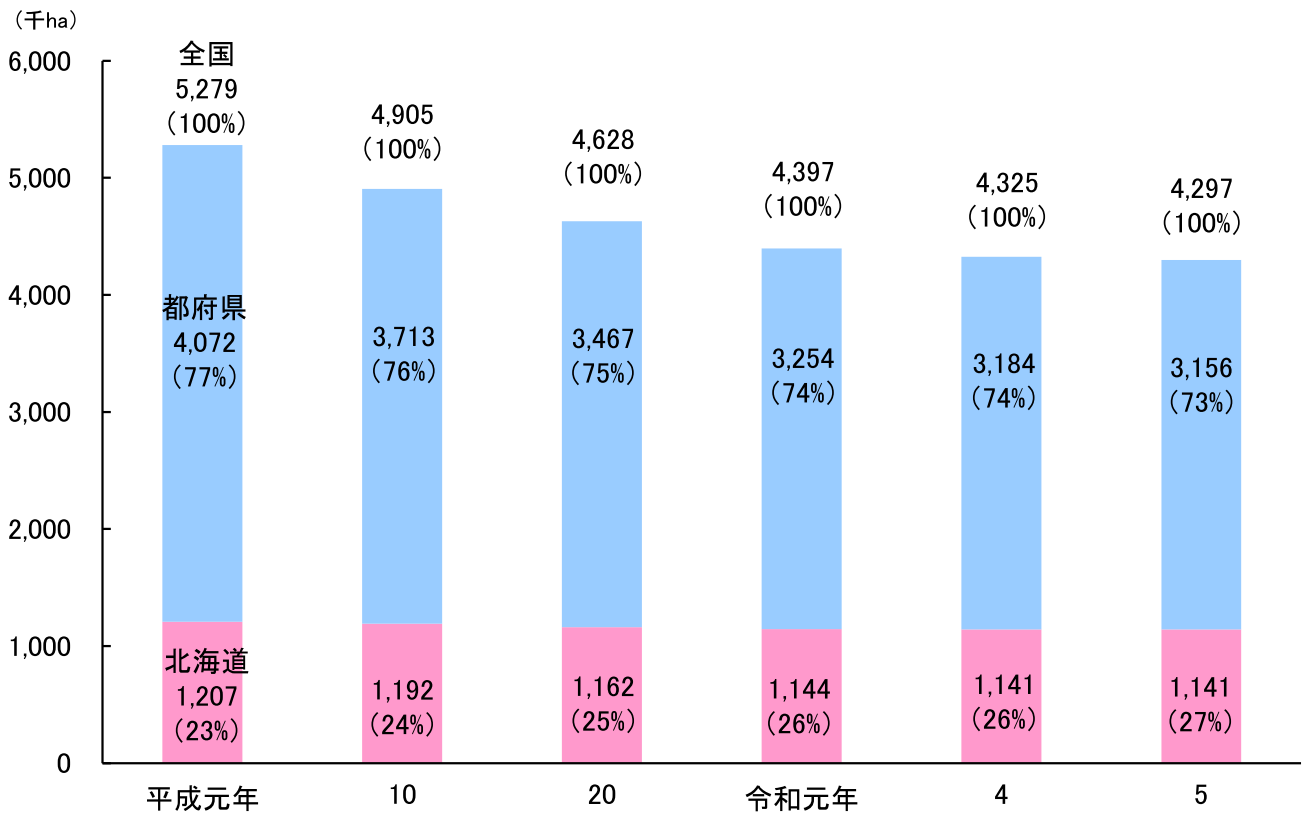


資料: 農林水産省統計部「農林業センサス」

4 農地の動向

(1) 耕地面積の推移

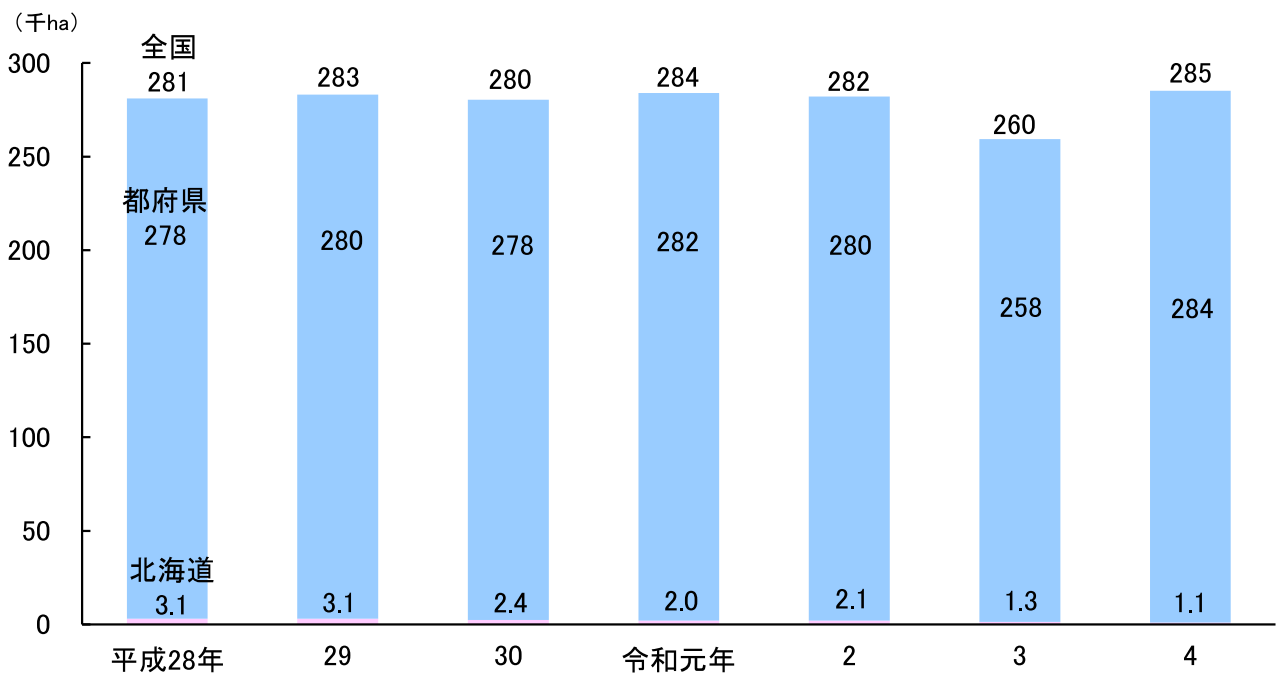
- 近年、全国的に耕地面積は減少傾向にあり、令和5年の全国に占める北海道の耕地面積の割合は27%



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

(2) 荒廃農地面積の推移

- 北海道の荒廃農地面積は近年、減少傾向で推移しており、令和4年では、約1,100ha。



資料：農林水産省農村振興局「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

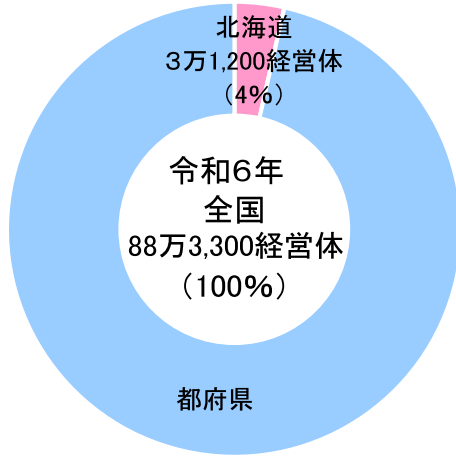
注：「荒廃農地」とは、現に耕作されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地

第3 農業経営体の概況

1 農業経営体数

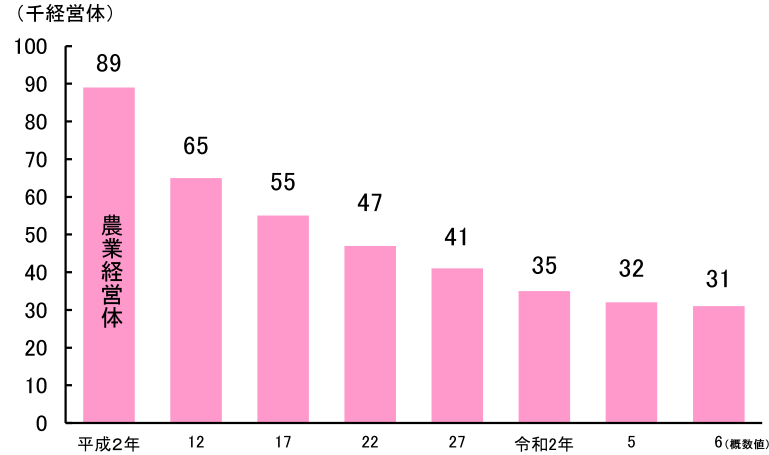
- 北海道の農業経営体数は3万1,200経営体で、全国の4%。

(1) 農業経営体数



資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査結果の概要(概数値)」

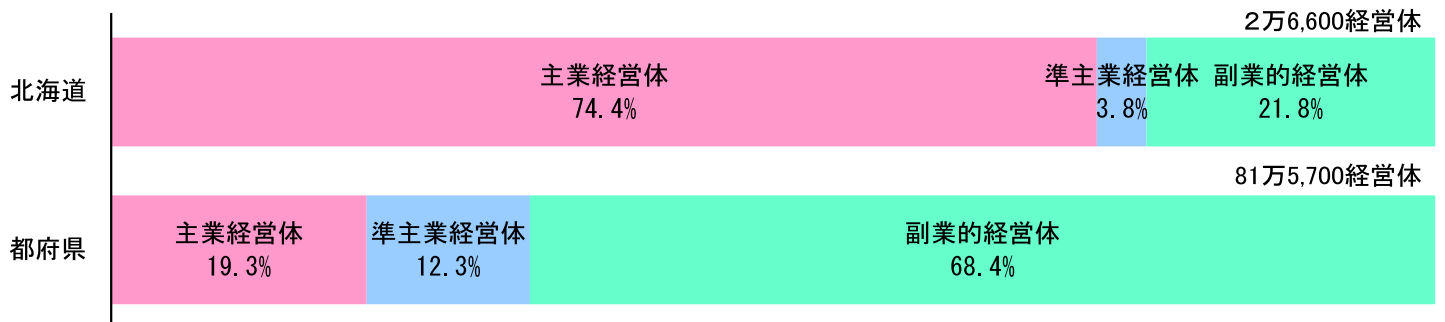
(2) 北海道の農業経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」、「農業構造動態調査結果」
注：平成2・12年の農業経営体数は、販売農家、農業以外の農業事業体及び農業サービス事業体数を合計した事業体数である。

2 個人経営体の主副業別経営体数割合(令和6年)

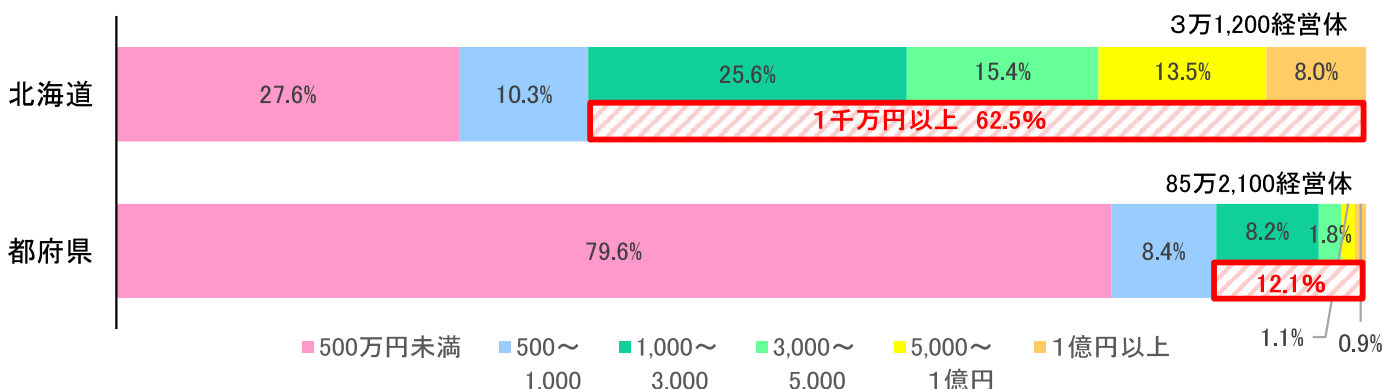
- 北海道の個人経営体2万6,600経営体のうち、主業経営体は7割超（1万9,800経営体）。



資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査結果の概要(概数値)」
注1：個人経営体とは、個人(世帯)で事業を行う経営体(法人化して事業を行う経営体は含まない。)
注2：主業経営体とは、農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で、自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
注3：準主業経営体とは、農外所得が主(世帯所得の50%未満が農業所得)で、自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
注4：副業的経営体とは、自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

3 農産物販売金額規模別の経営体数割合(令和6年)

- 北海道の農業経営体3万1,200経営体のうち、販売金額1千万円以上の農業経営体は6割（1万9,500経営体）。



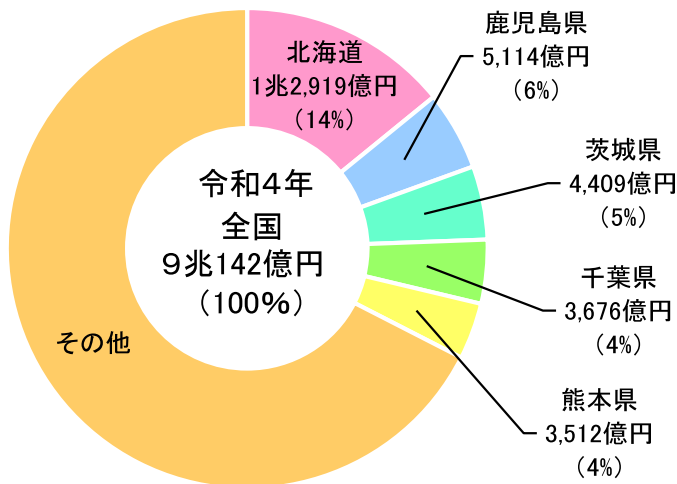
資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査結果の概要(概数値)」

第4 農業産出額の概況

1 農業産出額

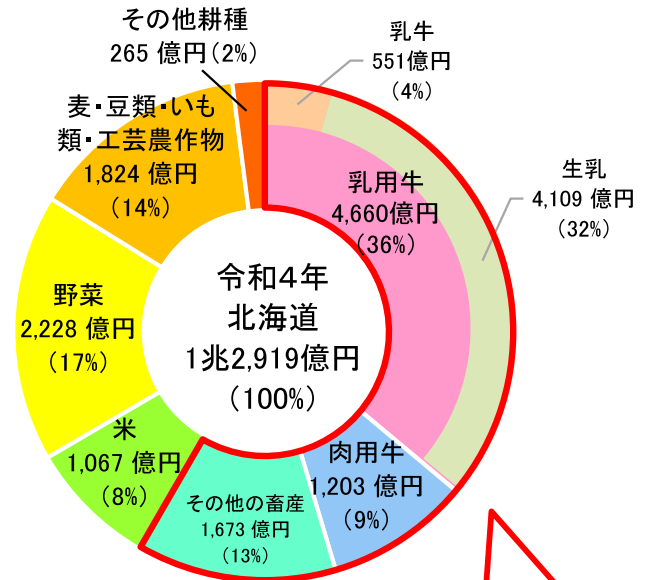
・北海道の農業産出額は1兆2,919億円で、全国の14%（全国1位）。酪農・畜産（乳牛・生乳・肉用牛・その他畜産）で約6割（58%）を占めている。

(1) 都道府県別の農業産出額



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

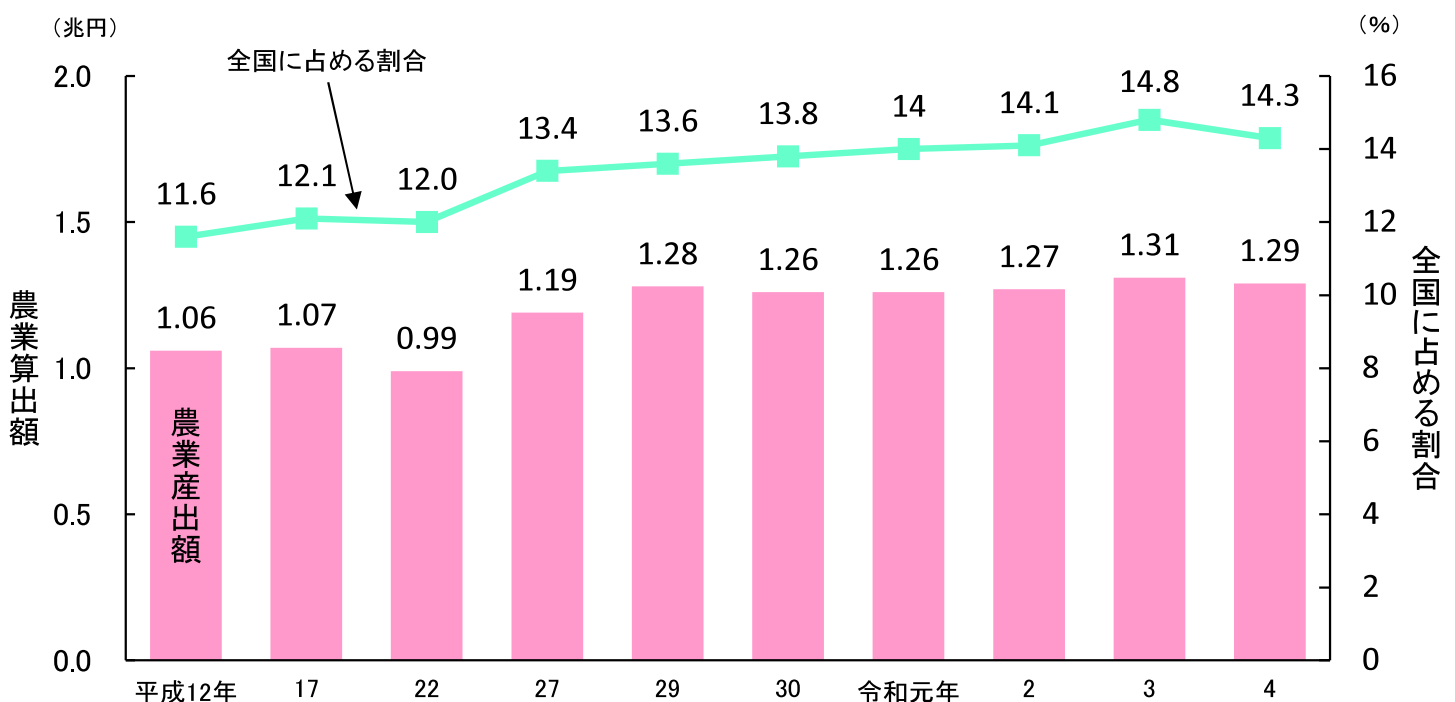
(2) 北海道の部門別農業産出額



酪農・畜産計
7,535億円 (58%)

2 北海道の農業産出額の推移

・北海道の農業産出額は約1.3兆円、全国に占める割合は近年増加傾向。



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

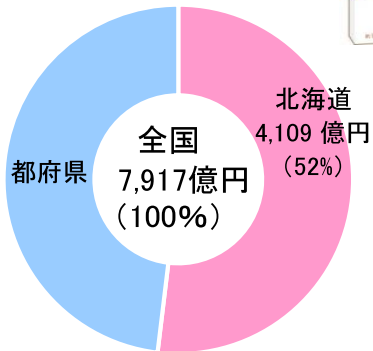
注：全国に占める割合とは、都道府県の合計値に対する北海道値の割合である。

3 北海道の農業産出額上位品目（令和4年）

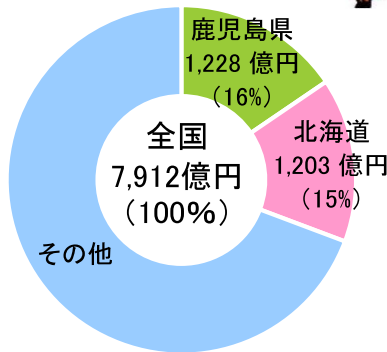
・北海道の品目別産出額の上位は、生乳、肉用牛、米、たまねぎ、軽種馬、豚、乳牛、ばれいしょ、てんさい、小麦、トマト、鶏卵の順であり、多くの品目が全国1位。

・赤字の品目は、北海道の産出額が全国1位のもの。

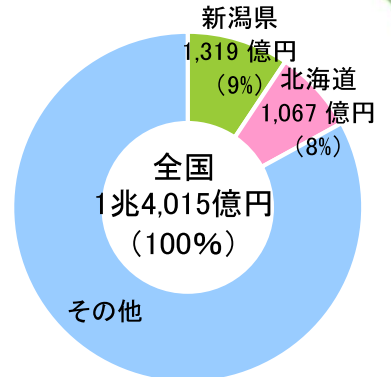
1位 生乳



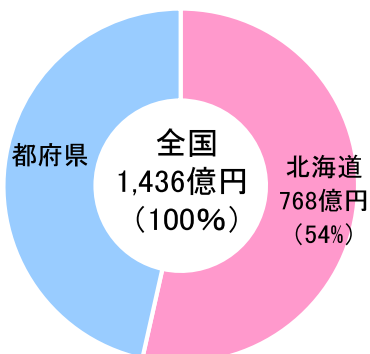
2位 肉用牛



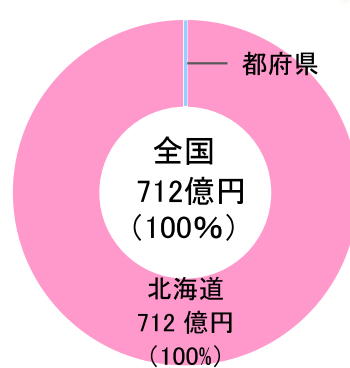
3位 米



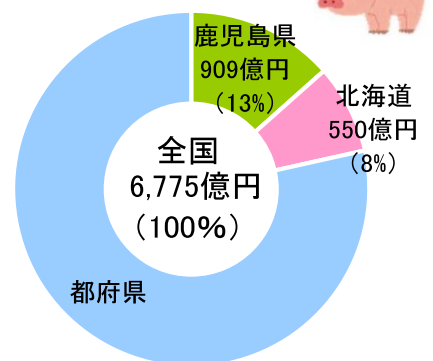
4位 たまねぎ



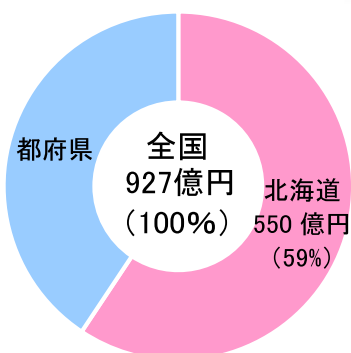
5位 軽種馬



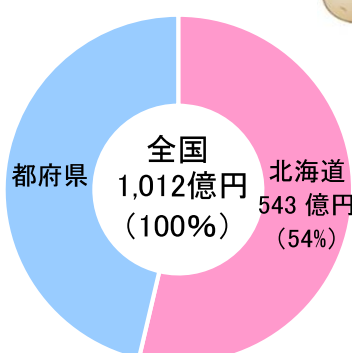
6位 豚



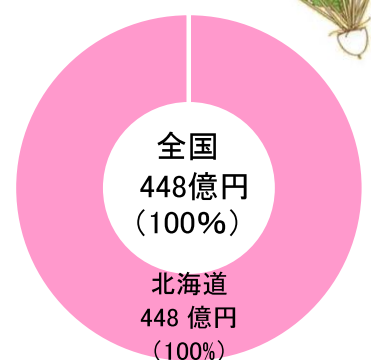
7位 乳牛



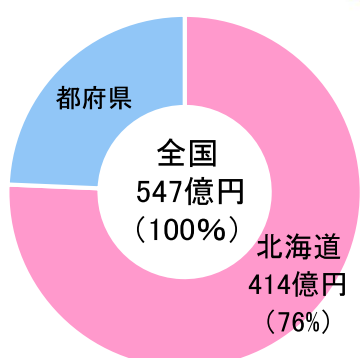
8位 ばれいしょ



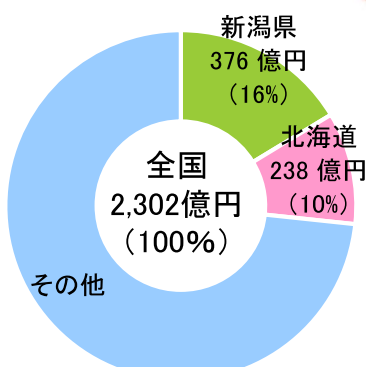
9位 てんさい



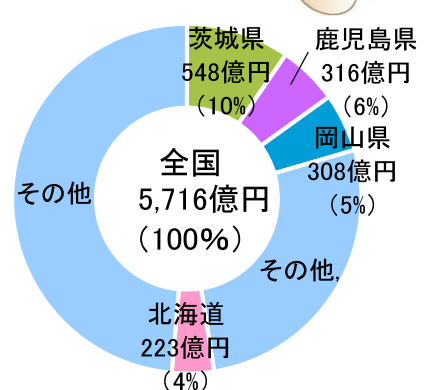
10位 小麦



11位 トマト



12位 鶏卵



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注1：全国の値は都道府県別の合計値

第5 食料自給率の概況

1 食料自給率

- ・北海道のカロリーベース食料自給率（令和4年度概算値）は218%（全国1位）。生産額ベースは205%（全国4位）。

(1) 北海道と全国の食料自給率

	北海道 (令和4年度概算値)	全国 (令和4年度概算値)
カロリーベース	218%	38%
生産額ベース	205%	58%

参考: カロリーベース食料自給率=1人1日当たり国産供給熱量/1人1日当たり供給熱量
生産額ベース食料自給率=食料の国内生産額/食料の国内消費仕向額

(2) 食料自給率の都道府県別順位(令和4年度概算値)

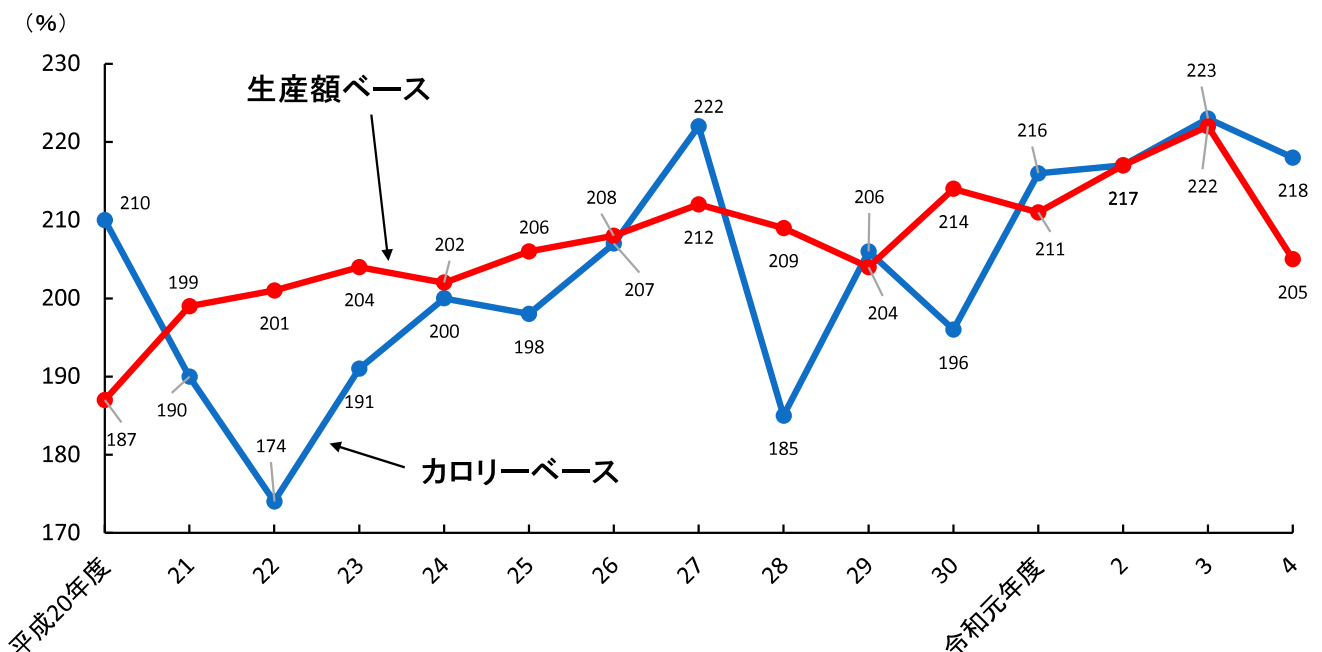
順位	カロリーベース		生産額ベース	
1	北海道	218%	宮崎県	253%
2	秋田県	196%	鹿児島県	249%
3	山形県	145%	青森県	216%
4	新潟県	117%	北海道	205%
5	青森県	116%	岩手県	180%

参考: 生産額ベースでは、宮崎県、鹿児島県、青森県が果物や野菜、肉用牛等収益性の高い部門の生産が多いことを反映して1～3位を占める。

資料: 農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室「都道府県別食料自給率」

2 北海道の食料自給率の推移

- ・北海道の食料自給率（令和4年度概算値）は、カロリーベース及び生産額ベースともに前年度から減少。



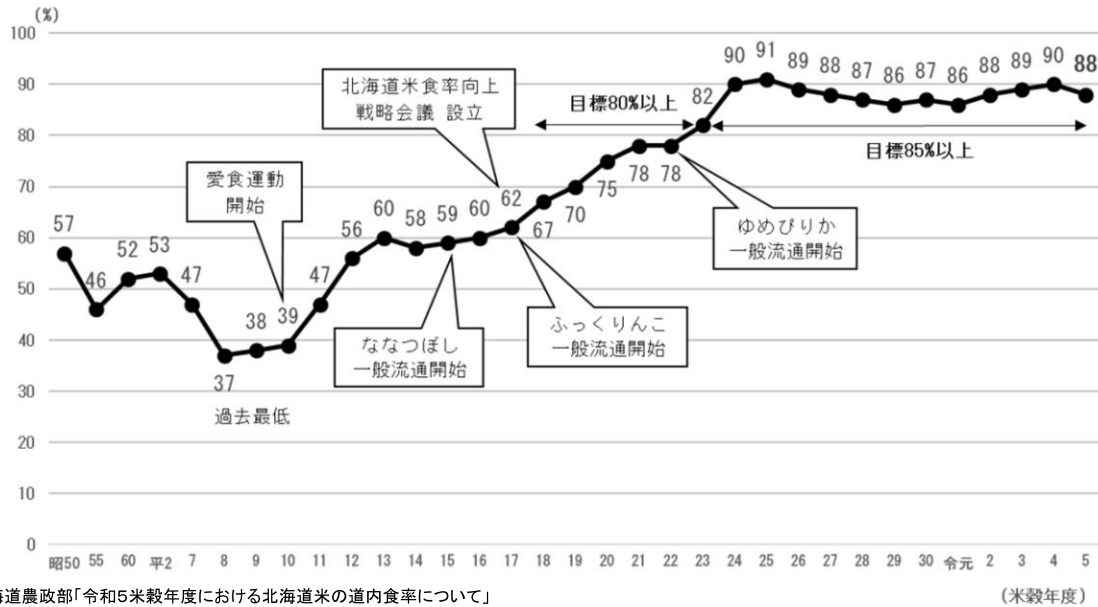
資料: 農林水産省「都道府県別食料自給率」を基に北海道農政事務所で作成

第6 食料消費の概況

1 北海道米の道内食率

- ・道内総人口と1人当たり年間米消費量は、近年一貫して減少傾向にあるものの、良食味米の生産や地産地消などの取組により、令和5米穀年度における北海道米の道内食率は88%。

北海道米の道内食率の推移 道内食率：北海道内の米消費量(276,640t)に占める北海道米(243,248t)の割合



2 一世帯当たりの年間品目別支出金額(二人以上の世帯)

- ・北海道の一世帯当たりの年間支出金額を見ると米、魚介類、酒類が全国平均を上回っている。
- ・札幌市と主要都市の支出金額を比較すると、米で札幌市が上位(6位)。

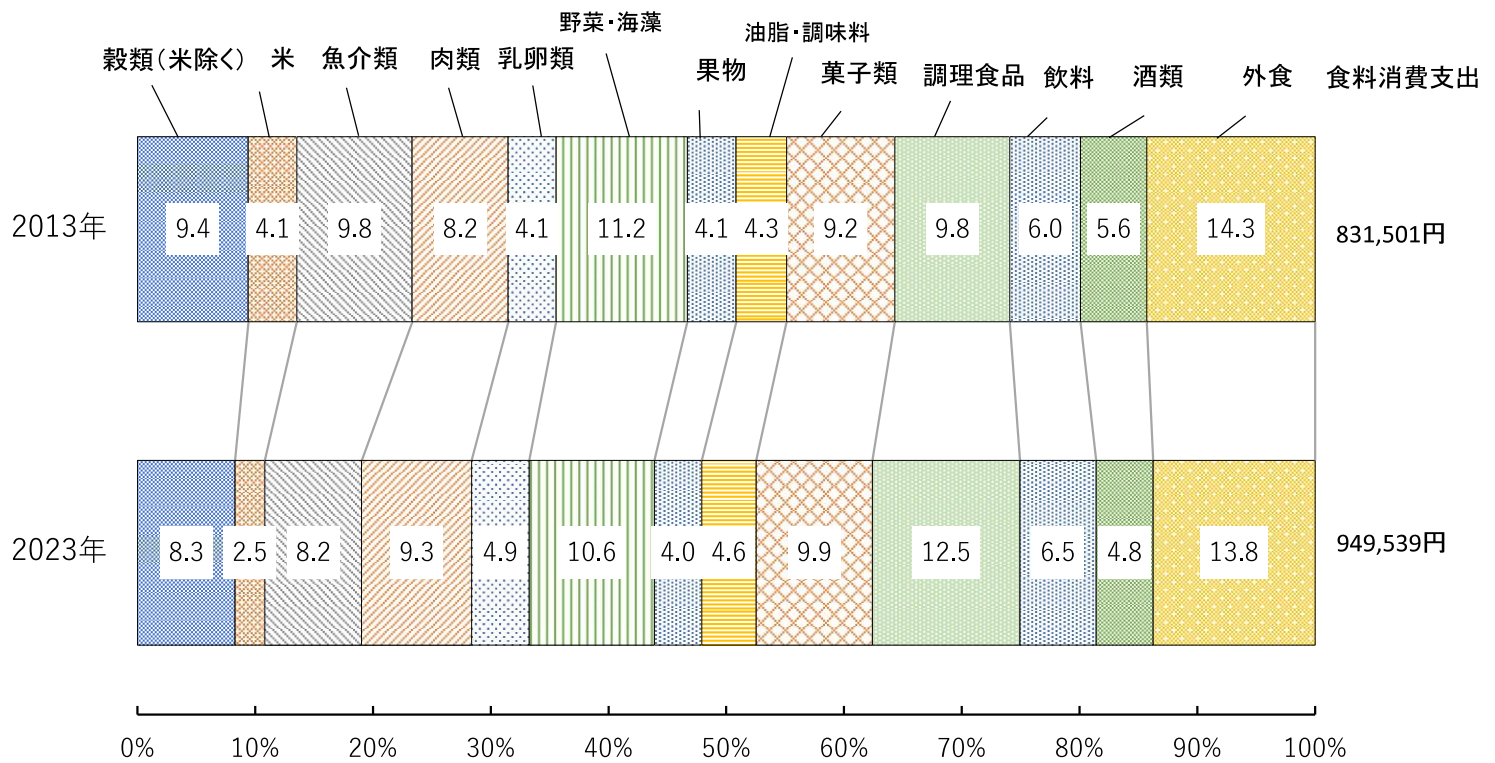
単位：円

項目名	北海道	札幌市	順位	全国平均
穀類	78,770	79,181	29位	80,694
(穀類のうち)米	23,882	24,326	6位	20,397
魚介類	78,107	76,770	16位	74,078
肉類	88,680	93,791	37位	98,457
乳卵類	46,473	47,779	43位	52,096
野菜・海藻	100,833	102,788	32位	107,744
果物	38,184	36,503	43位	41,374
油脂	5,308	5,008	41位	5,433
調味料	38,654	39,382	44位	42,210
菓子類	93,583	95,309	37位	99,520
調理食品	119,058	116,139	52位	151,880
飲料	61,398	59,318	45位	64,928
酒類	46,035	47,235	18位	45,700

資料：総務省統計局「家計調査年報(家計収支編)2023年(令和5年)第6表」

注：都道府県庁所在地と都道府県庁所在地を除く政令指定都市(川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市)の順位。

(参考) 北海道における食料消費支出の変化(二人以上世帯:2013年～2023年)



資料:総務省統計局「家計調査年報(家計収支編) 2013年(平成25年)第4表、2023年(令和5年)第6表」